

事業名	生きがい対策費			調書番号	26
細事業名	山梨県老人クラブ健康づくり・介護予防支援事業費補助金	財務コード	169206		
担当部課室	福祉保健部 部 健康長寿推進 課 地域包括ケア推進 担当 (内線)	3117			

I 事業の概要

実施期間	始期 H15 年度 ~ 終期 年度
実施主体	補助(山梨県老人クラブ連合会)
目的	だれ(何)を対象に 山梨県老人クラブ連合会 その対象をどのような状態にして 優れた指導者のもとで、健康づくりに取り組む高齢者が増えている。 結果、何に結びつけるのか 高齢者が健康で生き生きとした生活を送ることが出来る。
内容	○補助先:山梨県老人クラブ連合会 ○補助率:国・県 1/2 ○市町村老人クラブ連合会が行う健康づくり事業に対する県老人クラブ連合会の支援体制の確立と、市町村老人クラブ連合会における事業の活性化を促進し、健康づくりを推進する。 ・健康づくり委員会の開催 ・高齢者の健康ウォーキング普及・啓発事業 ・市町村老人クラブ連合会が行う健康づくり事業支援事業

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	目標	1 5	1 5	1 5	1 5	1 5	1 5	1 5
	実績(見込)	2 7	2 7	1 4	1 4	1 4	1 4	
	達成率	200.0 140.0	200.0 140.0	100.0 80.0	100.0 80.0	100.0 80.0	100.0 80.0	
	達成区分	a a	a a	b b	b b	b b	b b	
成果指標	目標	500	525	550	575	600	625	650
	実績(見込)	503	550	499	616	595	511	
	達成率	100.6	104.8	90.7	107.1	99.2	81.8	
	達成区分	b	b	b	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		828	828	706	640	576	518	518

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価 健康づくり委員会を年度当初に開催し、本事業の計画や課題確認を行うことで、事業を効果的に実施できた。また、各種研修会についても、国中地域と富士・東部地域で開催するようにし、ニュースポーツ等を積極的に取り入れるなど、参加者の増加を図るための取り組みを行っている。
成果指標	b	

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	今後も、魅力のある研修会となるよう、実施内容や開催場所などについて検討を重ねることで、参加者の増加を図っていきたい。
見直しの余地	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れおらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明	健康づくり委員会において、高齢者が健康で生き生きとした生活を送るためには、要介護状態とならないように介護予防に重点的に取り組んでいくことが重要との課題が確認されたため。
見直しの必要性	有	これまで、高齢者の健康づくりの観点から研修会を実施してきたが、今後は、より介護予防に効果のある内容で研修会を行っていく必要がある。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	高齢者が健康で生き生きとした生活を送ることが出来るよう、今後は、介護予防に効果のある取り組みを行っていく。
----------	----	---

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しが無い場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。